

交通計画（案）

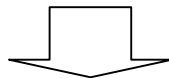
1. 交通計画の基本姿勢

◇地域の実情・特性

- ・総合運動公園周辺の国道 121 号交差点において、平日でも渋滞が発生する箇所があり、高校野球等大会開催時には、公園周辺の道路や駐車場でも渋滞が発生している。
- ・最寄り駅として、東武宇都宮線西川田駅や、JR 宇都宮線雀宮駅があるとともに、関東自動車による宇都宮市内から西川田方面へのバス路線も充実しており、公共交通の利便性が高い。

◇要件の整理

- ・総合スポーツゾーン内の施設や駐車場の配置計画



- ・既存公共交通を最大限に活用
- ・駐車場の効率・効果的な配置と効果的な道路整備による渋滞抑制
- ・生活地内での渋滞発生を回避

2. 交通計画の進め方

交通計画の対象を、**自家用車による来園にも最大限配慮する平常時と、自家用車の利用を限定し公共交通等の利用を最大限活用する特異日に分類して検討する。**

その上で、

- ・平常時においては、過去の実績等を基に最大駐車台数や駐車場の配置を設定した上で、交通シミュレーションを実施し、現在の交通状態を悪化させない必要最小限の道路整備箇所の抽出する。
- ・特異日においては、公共交通や場外駐車場等からシャトルバスを主体とした交通計画を検証する。

3. 平常時は車での公園利用者に最大限配慮した公園計画

◇平常時の最大駐車台数の設定

- ・最大駐車台数を 2,900 台に設定
理由：現在の交通状態に著しい負荷を与えず、J1 リーグや高校野球（準）決勝を除く、イベントで対応可能（年間開園日の約 9 割をカバー）

◇駐車場の効率・効果的な配置

- ・分散配置し、主に一般国道 121 号からの利用（周辺住宅に来園車両が混入防止）を想定
- ・駐車場は、利用頻度を考慮して駐車場利用時以外の多目的利用も想定

◇交通シミュレーションで抽出した渋滞対策

- ・総合スポーツゾーンへの主要な動線となる一般国道 121 号の交差点を中心に改良を行う。

4. 特異日における交通計画

◇特異日の来園者数

- ▶ 特異日の来園者総数は、J1 開催日とし 25,000 人を想定する。

◇交通計画の基本的な考え方

- ▶ 自家用車利用について
 - ・施設周辺地域の円滑な道路交通を確保するため、園内駐車場の利用を限定する。
 - ・園外駐車場を確保し、シャトルバスを運行する。
 - ・園内・園外駐車場の利用は、すべて予約制とする。
- ▶ 鉄道利用について
 - ・東武西川田駅からは徒歩による来園とする。
 - ・JR 駅ではシャトルバスを運行する。
- ▶ 路線バス・自転車利用について
 - ・路線バスおよび自転車の利用促進を図る。

◇各交通手段への具体的な対応

- ▶ 自家用車利用への対応
 - ・パーク&シャトルバス駐車場は 3 カ所確保 (約 2,400 台*2.4 人=約 5,800 人)
 - ・パーク&ウォーク駐車場は 2 カ所確保 (約 500 台*2.4 人=約 1,200 人)
 - ・公園内は第 3 南駐車場を確保 (約 630 台*4.0 人=約 2,500 人)
 - 第 1 駐車場は、一般利用者入場規制・シャトルバス待機場及び貸切バス駐車場
 - 第 2 駐車場は、シャトルバス専用乗降場・待機場
 - 第 3 北駐車場は、一般利用者入場規制
 - 第 4、5 駐車場は関係者専用
 - ・民間駐車場 (約 300 台*2.4 人=約 700 人)
- ▶ 鉄道利用への対応
 - ・JR 宇都宮駅、JR 雀宮駅からシャトルバスを運行
 - ・東武宇都宮線利用者の利便性を向上させるため臨時列車を運行
 - ・東武西川田駅利用者の安全で快適な歩行空間を確保するため、「国体通り」の再構築を図る。
- ▶ 路線バス・自転車利用への対応
 - ・路線バスについては、利用環境の向上や利用の啓発を行っていく。
 - ・自転車については、園内駐輪場や園内動線を確保する。

◇シャトルバスの運行について

- ▶ 概ね 70 台~100 台で運行する。
 - ・来園時はイベント開始 3 時間前から一定間隔で運行
 - ・退園時は約 90 分間で駅、駐車場への輸送を計画

◇想定する交通手段別来園者数

自家用車					鉄道		路線バス	自転車	その他 (徒歩、送迎等)	合計
パーク&シャトル	パーク&ウォーク	駐車場	東武鉄道	JR宇都宮線						
5,800	1,200	3,200	5,600	5,700	200	1,800	1,500	25,000		

*公共交通利用者(鉄道、路線バス)は、総来園者数の約 5 割(約 11,500 人)

*自家用車利用者数は、総来園者数の約 4 割(約 10,200 人)

◇他のイベント

- ▶ 国体開催時は、来園者輸送計画を別途策定。また、高校野球の(準)決勝時は、公共交通の利用や自家用車の乗り合いを促進する。

5. 更なる交通円滑化策等の提案

※ 交通円滑化等に向け、以下の項目について調整を図る。

◇来園車両を効率的に誘導

- 高度交通情報等を活用した駐車場案内
 - ・モバイル端末等を活用し駐車場の利用状況を案内
- 住宅地内への進入抑制策として、面的規制と特定路線規制を組み合わせる検討
- イベント主催者による交通誘導と交通管理者による取締りの強化

◇交通施設の利用環境の向上

- 東武西川田駅のバリアフリー化 等

◇計画的な道路整備

- 自転車、歩行者の通行環境の整備
- 歩行者、自動車動線のネットワーク強化 等

◇イベント等開催時における来退園時間の分散化

- プロスポーツ等の観戦開始前にプレイイベントを開催
- 飲食店やイベントグッズショップの開店時間を調整
- とちのきファミリーランドの活用 等